

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

ボイラーの更新による省エネルギー事業

排出削減事業者名：日本アスパラガス株式会社

排出削減事業共同実施者名：公益財団法人 北海道環境財団

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	日本アスパラガス株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	日本アスパラガス株式会社 千歳工場
住所	〒066-0075 北海道千歳市北信濃 864-6
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	公益財団法人 北海道環境財団
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

ボイラーの更新による省エネルギー事業

2.2 排出削減事業の目的

本事業は、高効率のガスボイラーへの設備更新と、A重油から都市ガス（13A）への燃料転換により、二酸化炭素排出量の削減を目指すものである。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

製品の殺菌に利用しているA重油ボイラーを、高効率のガスボイラーへ更新することで、ボイラーの高効率化と、燃料転換による二酸化炭素排出量の削減を図る。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

工場の生産能力増強に伴い2014年7月に蒸気ボイラーを増設（1570kW×4台）している。ただし、削減量の計算には、増設4台分は含めず、計画書の4台のみを対象としている。

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2012年12月11日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日 ～ 2018年5月31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

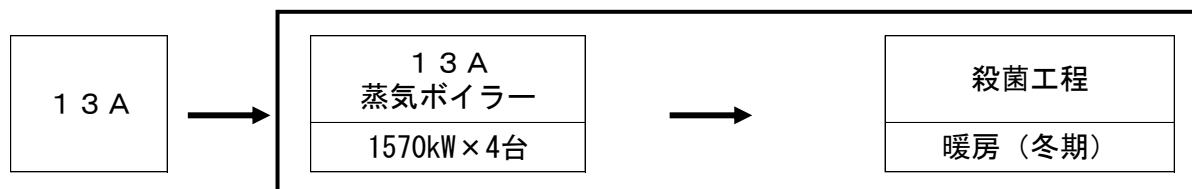
方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

本削減事業においては活動量・原単位は用いない。

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

本事業のバウンダリーは、更新するガスボイラー及び更新するボイラーから蒸気の供給を受ける設備である。



5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、) 変更理由
$F_{fuel, PJ}$	事業実施後（燃料転換後）燃料の使用量	千 Nm ³	平成 25 年 8 月まで 419.2 平成 25 年 9 月以降 3,857.1	・燃料供給会社からの請求書数値に、温度補正 (T=15(°C)) をおこなって算出	
$HV_{fuel, PJ}$	事業実施後（燃料転換後）燃料の単位発熱量	GJ/千 Nm ³	平成 25 年 8 月まで 46.0 平成 25 年 9 月以降 45.0	・北海道ガスの都市ガス (13A) 公表値を利用	
ε_{BL}	事業実施前（燃料転換前）ボイラー効率	%	88.4 (高位)	・カタログ値より算出	
ε_{PJ}	事業実施後（燃料転換後）ボイラー効率	%	90.8 (高位)	・カタログ値より算出	
$CF_{fuel, BL}$	事業実施前（燃料転換前）燃料の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	tCO ₂ /GJ	0.0708	・制度のデフォルト値を利用 (A重油)	
$CF_{fuel, PJ}$	事業実施後（燃料転換後）燃料の単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数 (CO ₂ 排出原単位)	tCO ₂ /GJ	平成 25 年 8 月まで 0.0513 平成 25 年 9 月以降 0.0509	・北海道ガスの都市ガス (13A) 公表値を利用	

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
$F_{\text{fuel,PJ}}$	$HV_{\text{fuel,PJ}}$	$CF_{\text{fuel,PJ}}$	
419.2 ※1	46.0	0.0513	989.2
3,857.1 ※2	45.0	0.0509	8,834.6
EM_{PJ}			9,823.8

※1 2013年8月末まで

※2 2013年9月～2018年5月末

6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
$Q_{\text{fuel,BL}}$		$CF_{\text{fuel,BL}}$	
198,087.8		0.0708	
EM_{BL}			14,024.6

6.3 リークージ排出量

LE	0.0 (tCO ₂)
------	-------------------------

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	EM_{BL}	14,024.6(tCO ₂)
事業実施後排出量 (7.1)	EM_{PJ}	9,823.8 (tCO ₂)
リークージ排出量 (7.3)	LE	0.0 (tCO ₂)
温室効果ガス排出削減量	ER	4,200 (tCO₂)

7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースラインー実績 (①ー②)
5,110.7	4,964.8	145.9

$$\text{省エネ量} = 5,110.7 \text{ (kl)} - 4,964.8 \text{ (kl)} = 145.9 \text{ (kl)}$$

8 再生可能エネルギー利用量

該当せず